

中海会議 第2回幹事会 (概要)

- 概要
 - ・ 進行は鳥取県企画部長による
 - ・ 島根県政策企画局長、中国四国農政局整備部長、中国地方整備局は出雲河川事務所長の挨拶
 - ・ 第1回中海会議幹事会(H22.9.6)で設置された決めた2つの部会と2つのワーキンググループについて、これまでの検討状況や関連事項を事務局から報告、質疑応答
 - ・ 各幹事による意見交換
 - ・ 来年度関連予算状況について情報提供 (両県連携事業、農林水産省、中海市長会)
 - ・ 来年度中海会議スケジュール等の確認

<各部会等説明内容と主な論点>

中海湖岸堤部会 (事務局：出雲河川事務所)	【説明】 (服部計画課長) ・ 湖岸堤防の実施箇所の第1回幹事会以降の進捗状況と来年度の工事実施見込み及び変更点等について説明 ・ 関係市町等の内水対策の取組状況等について説明 【論点・意見】 ・ 特になし
中海の水質及び流動会議 (事務局：鳥取県水・大気環境課)	【説明】 (近藤水・大気環境課水環境保全室長) ・ 第1回及び第2回会議の結果概要について説明 (第5期保全計画の進捗状況、構成員アンケート結果、情報共有のための「中海の経緯と変遷」作成案、等) ・ アオコ発生について (出雲河川事務所から状況の説明、島根県でも生態について分析中) 【論点・意見】 ・ 昨年大発生したアオコの問題は、新しく動きのある課題として、情報共有を図りながら水質部会としても引き続き議論を。(幹事会として部会に対しテーマ設定してもよいのではないか) ・ 第5期の保全計画は当然進めながら、(5次計画作成以降の状況の変化も踏まえて)新たな事象や課題が生じたときは水質部会としても検討し、打てる手は打っていくこと。 ・ 水質形成メカニズム、汚濁メカニズム等の研究課題に環境省とタイアップするなどして取り組んではどうか。 ・ 浅場造成には期待が高い。湧水地と関連づけて相乗効果を狙うなどはどうか。 ・ 水質測定結果などは個々の数値が示されているがトータルな見方のできるデータの整理が必要ではないか。→資料の見せ方を工夫するよう検討。 ・ 出雲河川事務所の持つ流速データなど、わかりやすい提示をお願いしたい。
中海沿岸農地排水不良 WG (事務局：米子市経済部農林課)	【説明】 (八幡農林課長) ・ 第1回WGの結果概要について説明 ・ 排水不良対策モデル地区への工事残土搬入の実施状況 ・ 工事残土の利用や事業化をはかる上で、適切な客土量の分析等も今後必要。 【論点・意見】 ・ 良い土であると地元も評価。国交省の協力で感謝 ・ 作付け以降に、この対策の評価はなされることになる。
中海の利活用に関する WG (事務局：鳥取県企画課)	【説明】 (亀井企画課長) ・ 第2,3回WGの結果概要について説明 ・ 各テーマ毎に集まったアイデアのたたき台について説明 【論点・意見】 ・ 行政主導というよりは、NPOなどの意見を取り入れるなど上手に組み合わせる良いものを。 →NPOや住民など民間のパワーが活用できるフレームを検討。

<中海会議スケジュールについて>

- ・ 7月から8月のあたりで本体会議を開催、その前段のものとして、もう一度幹事会を開催予定。(2回目以降の開催は未定、状況をみながら事務局で調整)
- ・ 本体会議及び幹事会の主務事務局が鳥取県から島根県に交代。窓口や情報の経路等再確認し情報共有をさらに図っていくこととする。